

ホットスプリングス市・花巻市

姉妹都市提携25周年記念 市民ツアーを開催しました

【問い合わせ】本館国際交流室(☎24-2111内線413)



平成5年に米国アーカンソー州ホットスプリングス市と姉妹都市提携を結んでから25周年を迎えました。

これを記念し、ホットスプリングス市訪問花巻市民ツアーを10月4日から7日間の日程で開催しました。

ホットスプリングス市と本市は中高生の派遣・受け入れを通じ、子どもたちが外国の文化を学ぶ機会を提供し合っています。

これまで本市からは、400人を超える生徒を派遣。ホストファミリーをはじめ、交流を支えてくれたホットスプリングス市民に感謝するとともに、今後も相互の交流を続けていくことを確認する機会となりました。



▼式典には関係者など約100人が出席

▲パット・マッケイブ市長の説明を聞く、市民ツアー参加者



者は、ホットスプリングス市の街づくりの取り組みが参考になった様子でした。

●姉妹都市提携25周年記念式典

見学を終えた参加者は、ホットスプリングス市中心部にあるコンベンションセンターで、姉妹都市提携25周年記念式典に出席。パット・マッケイブ市長をはじめ、これまで交流に関わったホットスプリングス市民などが集まり、和やかな雰囲気の中で節目を祝いました。

式の中で、これまで交流に携わってきたホットスプリングス市の功労者に、本市から感謝状を贈呈。さらにホットスプリングス市に、宮沢賢治童話村に設置するものと同じ、ダイヤモンド型のオブジェを贈りました。

●市街地再開発視察

市街地開発の状況を視察した皆さんは、ホットスプリングス市のパット・マッケイブ市長から説明を受けながら、改装中のビルや市街地に描かれている壁画などを見て回りました。

ホットスプリングス市では、建物を改修(リノベーション)する際、その建物の歴史的建造物としての価値を残した場合に、改修に係る費用が税額控除されます。そのためリノベーションが促進されていると説明を受けた参加

message 「市民ツアーに参加した皆さんからのメッセージ」

●松田 恵子 さん

ホットスプリングス市の魅力を感じたいと思い、市民ツアーに参加しました。雄大なハミルトン湖のクルーズや、美しい街並みの中でのギャラリーウオーク、夕食会など、市民との触れ合いを大切に企画が準備されていて感動と驚きの連続でした。

ホットスプリングス市民の皆さんは常に私たちがやさしい笑顔で迎えてくれました。両市の強く温かい絆が末永く続いて欲しいと思います。



●吉田 和洋 さん (花巻ロータリークラブ)

ホットスプリングスビレッジロータリークラブ(HSVRC)と花巻ロータリークラブとの姉妹クラブ締結5周年ということもあり、メンバー8人で参加しました。

歓迎会で当クラブは、花巻北高とアーカンソー数理芸術高(ASMSA)との交流活性化のため、HSVRC会長を介し、ASMSA 校長に交流支援金を贈呈しました。

多くの生徒たちが交流を通じて世界への目を開き、国際感覚を養って活躍してほしいと思います。



平成30年度 市勢功労者表彰

平成30年度の市勢功労者表彰式を11月3日、花巻温泉ホテル紅葉館で開催しました。市勢の発展に大きく貢献したことにより、三つの部門で表彰された4人の皆さんは次のとおりです。

【問い合わせ】本館総務課(☎24-2111内線219)



地方自治功労

おだしまくにひろ さん
小田島 邦弘 さん

(東和町館迫・74歳)

市勢の発展と地方自治の進展に尽力

平成15年5月に東和町議会議員として初当選以来、連続4期11年3カ月にわたり市(町)議会議員を務めました。22年8月から26年7月までの4年間は市議会副議長を務め、議会の円滑な運営や議会体制の構築に努めました。

東和町議会在任中、教育民生常任委員会副委員長を2年8カ月務め、教育や市民生活の向上などに尽力しました。合併後は文教、総務、福祉の各常任委員に所属しさまざまな分野に尽力。文教常任委員会では副委員長を務め、住民福祉の向上に貢献しました。



地方自治功労

ちばつかお さん
千葉 慎夫 さん

(北湯口・76歳)

各種統計調査に尽力し、円滑な調査活動に寄与

平成3年5月に旧花巻市統計調査員協議会理事に就任以来、継続して理事を務め、14年4月から30年4月まで同協議会会長を務めました。

18年の各市町統計調査員協議会の合併の際には、各地域の役員との連絡調整を的確に実施。合併後の円滑な協議会活動に寄与しました。

昭和50年の県農林業統計調査以来、市内統計調査員の中で最多計95回の各種統計調査に従事。さらに、経験の少ない調査員に助言指導するなど、市内全体の円滑な調査活動に寄与しました。



教育文化功労

さいとう まさかず さん
齋藤 政一 さん

(十二丁目・94歳)

非核平和、被爆者救済、核兵器廃絶を推進

昭和20年8月6日、広島県で被爆。瀕死の重傷を負うも救出され一命を取り留めました。

以降、自身の経験を基に平和の大切さや被爆者救済、核兵器廃絶を訴える講演などを国内外で開催。平成29年12月には、ノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーンの関連行事として、現地の平和団体が主催したパレードに、東北からは唯一参加しました。

本市の「平和教室」においても、小中学生に平和に関する講演を行い、非核平和の推進に寄与しました。



民生安定功労

かまだ よしみち さん
鎌田 嘉道 さん

(石鳥谷町北寺林・77歳)

青少年の健全育成、犯罪予防に尽力

平成3年4月に保護司に就任以来、およそ26年にわたり、更生保護活動はもとより、青少年の健全育成、犯罪予防に尽力しました。

24年4月から28年3月まで花巻地区保護司会会長および、県保護司会連合会理事、27年4月から28年9月まで県保護司会連合会副会長を務めました。

26年7月には石鳥谷総合支所内に「更生保護花巻サポートセンター」を開設。29年3月に保護司を退任しましたが、現在も花巻地区保護司会顧問として活動を支援しています。